

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	教育・学習心理学	担当者名	櫻本 和也
授業の概要	よりよい教育を行うために幼児・児童及び生徒の心身発達や学習の仕組みを理解することは重要である。この講義では教育の過程における心の動きを心理学的に分析することで、学習活動を支える教育・指導の基礎となる学習のプロセスについての知識・技術、実践方法を身につける。				
科目の到達目標	1. 幼児・児童及び生徒の心身の発達の全体像を詳しくイメージすることができる。 2. 教育・学習における重要な概念・個人差の捉え方について理解した上で具体的な対応方法を説明することができる。 3. 自らの学ぶ意義について、心理学的な視点を持って深く考察することができる。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(30)、⑦思考力(30)、⑧実践力(10)、⑨主体性(20)、⑩問題解決力(10)				
授業時間外学修 (予習・復習)	予習:授業内容を事前に確認した上で、自分自身ならびに家族をモデルとして学習内容を捉える(毎回、2時間程度)。 復習:レジュメを基に学習内容を振り返り、各理論について自らの言葉で説明できるように復習する(毎回、2時間程度)。				
フィードバックの方法	理解度調査と講義内容への質問・要望を記入するコミュニケーションシートをロイロノートに提出。各回ごとに管理し、フィードバックと振り返りの実施に活用する。				
単位認定の要件	講義内での課題提出、および中間と期末のレポート課題で単位修得の基準を満たすこと。				
評価の方法・割合 (%)	講義内のグループワークと課題(20%)、提出物(25%)、中間・期末の課題(55%)で総合的に評価する。				
履修上の注意事項	心理学を学ぶということに対して主体的な姿勢を持ち、自分自身と向き合う取り組みに努めて欲しい。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			乳幼児期から青年期における心身の発達に関する外的および内的要因の相互作用および発達の基礎理論について	⑥, ⑦, ⑧, ⑨	コミュニケーションシート
2			発達の概念および教育における発達理解について	⑥, ⑦, ⑧, ⑨	コミュニケーションシート
3			発達初期における養育者との愛着形成と初期経験の重要性について	⑥, ⑦, ⑧, ⑨	コミュニケーションシート
4			乳幼児期から青年期における運動発達の過程とその特徴について	⑥, ⑦, ⑧, ⑨	コミュニケーションシート
5			乳幼児期から青年期における言語発達の過程とその特徴について	⑥, ⑦, ⑧, ⑨	コミュニケーションシート
6			乳幼児期から青年期における認知発達の過程とその特徴について	⑥, ⑦, ⑧, ⑨	コミュニケーションシート
7			乳幼児期から青年期における社会性の発達過程とその特徴について	⑥, ⑦, ⑧, ⑨	コミュニケーションシート
8			代表的な学習理論および学習理論の変遷について	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
9			様々な学習形態および概念について	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
10			学習における動機づけについて	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
11			仲間集団の発達的変容やその測定方法について	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
12			学習における評価の在り方について	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
13			生涯発達の視点から考える発達段階を踏まえた適切な学習方法について	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
14			様々な学習指導の特徴とその理論	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
15			子どもの学びを支える教師の役割	⑥, ⑦, ⑨, ⑩	コミュニケーションシート
期末試験			中間と期末のレポート課題を実施する		

使用テキスト	資料・レジュメを配布する。
参考文献 参考URL	鈴木 清(2015). 人間理解の科学[第2版]-心理学への招待-, ナカニシヤ出版 他, 適宜紹介する。
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--